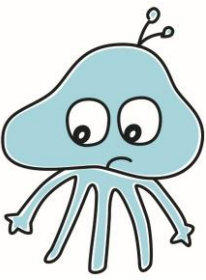


AMEDがん研究の成果（令和4年4月～6月）

各研究成果の詳細は、下線部分をクリックしてください。
各研究のお問い合わせは詳細ページに記載されています。



☆大腸がん（新規スクリーニング）

ミニ臓器（オルガノイド）の大量培養に成功し、大腸のみならず他の臓器にも幅広く応用可能であり、今後の創薬や個別化治療の推進に貢献！

大腸がんに対する薬の効果を予測するオルガノイド培養技術を開発—正常な「ミニ臓器」の培養効率を飛躍的に改善—（次世代）*1

☆大腸がん（新規治療薬）

大腸がん発症に深く関与する、立体構造不明のタンパク質（KLF5）に対して選択的抑制作用を有する低分子化合物の合成に成功！

大腸がんの原因遺伝子KLF5を標的とし、がん細胞をより選択的に障害する新しい抗がん剤の開発（次世代）*1

☆肝がん

肝がん、特に脂肪肝を素地とする肝がんの予防や治療につながる可能性のある新しいメカニズムを解明！

脂肪肝による肝がんの進行が腸内細菌によって促進されるメカニズムの一端を解明（革新）

☆難治がん（膵がんなど）

ビタミンA誘導体（AM80）の併用で抗がん剤の治療効果が増強！

線維芽細胞の性質を変えることにより、抗がん剤の効果を増強させる技術を開発—難治がんの新規治療法への応用を期待—（次世代）*1

☆希少がん・難治がん（メカニズム）

様々ながん、特に希少がん、難治がんに対する新規治療戦略に貢献できる可能性あり！

がん細胞からiPS細胞が樹立できない分子メカニズムを解明—新しいがん分子標的薬の開発に道—（次世代）*1

☆難治性の骨・軟部肉腫および婦人科悪性腫瘍

外科的治療、化学療法、放射線治療に代わる有効性の高い治療方法を臨床試験へ！

HER2陽性の再発・進行骨・軟部肉腫と婦人科悪性腫瘍を対象とする非ウイルス遺伝子改変HER2 CAR-T細胞の医師主導治験開始（再生・革新）

☆膠芽腫（悪性脳腫瘍）

悪性脳腫瘍に対する抗糖尿病薬を組み合わせた新たな治療法開発により、医療費も抑制できるか！

国立がん研究センター中央病院などで膠芽腫（悪性脳腫瘍）に対する糖尿病治療薬メトホルミンと抗がん剤の併用療法の有効性を評価する先進医療（第II相臨床試験）を開始（革新）

☆急性白血病（治療薬臨床入り）

急性白血病に対する新規候補薬剤の患者さんへの投与が開始され（フェーズ1/2）、新規薬剤として今後開発を推進！

急性白血病治療薬として創製された新薬候補化合物のフェーズ1/2試験を開始（次世代）*1

☆リンパ腫（新規メカニズム）

リンパ腫の発生および悪性化につながる、新たなメカニズムが発見され、新規治療法の開発に期待！

リンパ腫における新規発がんメカニズムを発見—脂質を軸とした新たな治療法の開発に期待—（次世代）*1

☆がんゲノム解析（疫学調査）

日本人集団で、BRCA1/2遺伝子発現が胃がん、食道がん、胆道がんの3がん種の疾患リスクを高めることを新発見！

10万人以上を対象としたBRCA1/2遺伝子の14がん種を横断的解析—東アジアに多い3がん種へのゲノム医療の可能性—（ゲノム・次世代）*1・革新

（次世代）*1： 次世代がん医療創生研究事業の成果
（次世代）*2： 次世代がん医療加速化研究事業の成果
（革新）： 革新的がん医療実用化研究事業の成果
（再生）： 再生医療実用化研究事業の成果
（ゲノム）： ゲノム創薬基盤推進研究事業

成果がみなさんの元に早く届くよう、日々研究推進されています。

